
[SP 改] 閲覧記録機能

FOR SHAREPOINT 2016

ユーザーマニュアル

1.0 版 2016 年 12 月 16 日

株式会社アンク



目次

概要	2
閲覧記録機能の設定	3
閲覧記録の表示	11
メール送信機能	13
「ユーザー設定のリストフォーム」について	15
制限事項	21
試用版について	22

概要

閲覧記録機能は、アイテムまたはドキュメントを閲覧したユーザーを記録し、未読ユーザーの一覧や既読ユーザーの一覧を表示することができる機能です。

アイテムを閲覧したユーザーのうち、記録するユーザーや、閲覧記録を見ることができるユーザーを、リスト(ライブラリ)またはアイテム(ドキュメント)単位で設定することが可能です。

また、未読ユーザーに対して閲覧督促のメールを一斉送信することが可能です。**※プロ版のみ**

閲覧記録機能の設定

閲覧記録機能を設定する手順は、次の通りです。

1. ライブラリやリストの設定画面で、[全般設定] の [[SP 改]閲覧記録設定] をクリックします。

全般設定

- リスト名、説明、ナビゲーションの列挙
- バージョン設定
- 詳細設定
- 検証の設定
- 対象ユーザーの設定
- 評価の設定
- [SP改]閲覧記録設定**
- フォームの設定

2. 閲覧記録機能の設定画面が表示されます。

[閲覧記録機能の有効化]

[このリストで閲覧記録機能を有効にする] チェックボックスをオンにすると、詳細設定欄が表示されます。

閲覧記録機能の有効化

閲覧記録機能を有効にすると、アイテムを見たユーザーを記録し、未読ユーザーや既読ユーザーの一覧を表示することができます。

☒ このリストで閲覧記録機能を有効にする

閲覧記録の対象ユーザー

アイテムを見たユーザーのうち、どのユーザーを記録するかを指定してください。
合計2000人まで指定することが可能です。
※ここでの設定後に、指定したグループにユーザーが追加され、対象ユーザーの合計が2000人を
超えた場合、一部のユーザーが対象とならない可能性がありますのでご注意ください。

☒ 次に指定したユーザー・グループを記録する

☐ アイテム毎に、アイテムの作成者(更新者)が対象ユーザーを指定する

☐ アイテムに閲覧権限を持つユーザー・グループを記録する

閲覧記録の公開先

アイテムの閲覧記録を見ることができるユーザーを選択してください。

☐ アイテムを閲覧可能なユーザーが参照可能

☒ (上で指定した)閲覧記録の対象ユーザーのみ参照可能

☐ アイテムを編集可能なユーザーのみ参照可能

☐ アイテムの作成者のみ参照可能

☐ アイテム毎に、アイテムの作成者(更新者)が閲覧記録の公開先を指定する

アイテムプロパティ更新時の閲覧記録初期化

ユーザーが編集フォームでアイテムのプロパティを更新した際に、そのアイテムの既存の閲覧記録を消すかどうかを指定してください。

☒ 更新時に閲覧記録を初期化するかどうか更新者が指定する

☐ 更新時に閲覧記録を常に初期化する

☐ 更新時に閲覧記録を常に初期化しない

未読ユーザーへのメール送信

まだアイテムを閲覧していないユーザーへ、メールを送信することができるユーザーを選択してください。
※閲覧記録を参照できないユーザーはメールを送信できません。

☒ アイテムを閲覧可能なユーザーがメール送信可能

☐ (上で指定した)閲覧記録の対象ユーザーのみメール送信可能

☐ アイテムを編集可能なユーザーのみメール送信可能

☐ アイテムの作成者のみメール送信可能

☐ リストの管理権限を持つユーザーのみメール送信可能

☐ このリスト(ライブラリ)でメール送信機能を利用させない

閲覧を記録するビュー

ビューを表示しただけで各アイテムの閲覧を記録したい場合は、ビューを指定してください。例えば、
ディスカッション掲示板の「スレッド形式」ビューや「フラット形式」ビューを指定すると、ビューに表示され
たディスカッション（スレッド）とすべての「返信」の閲覧が記録されます。

ビュー名

コンテンツタイプ

このビューで閲覧を記録する

すべてのアイテム

(なし)

☒

保存

キャンセル

[閲覧記録の対象ユーザー]

アイテムを閲覧したユーザーのうち、どのユーザーを記録するかを指定します。

グループを指定した場合は、そのグループに所属する全てのユーザーの閲覧情報が記録されます。

閲覧記録の対象ユーザー

アイテムを見たユーザーのうち、どのユーザーを記録するかを指定してください。
合計2000人まで指定することが可能です。
※ここでの設定後に、指定したグループにユーザーが追加され、対象ユーザーの合計が2000人を
超えた場合、一部のユーザーが対象とならない可能性がありますのでご注意ください。

☒ 次に指定したユーザー・グループを記録する

☐ アイテム毎に、アイテムの作成者(更新者)が対象ユーザーを指定する

☐ アイテムに閲覧権限を持つユーザー・グループを記録する

➤ [次に指定したユーザー・グループを記録する]

対象のリストまたはライブラリに対して、閲覧権限以上の権限を持つユーザーまたはグループを選択します。(権限のないユーザー、グループは選択できません)

※「システムアカウント(sharepoint\system)」、「すべてのユーザー」は記録対象外となり、選択できません。

※ユーザー、グループ内のメンバー合わせて 2000 人まで設定することが可能です。

この画面では 2000 人以上の指定ができませんが、この画面で指定したグループのメンバーが後から増えて、「記録するユーザー」の合計が 2000 人を超えた場合には、一部のユーザーが記録されない可能性があるためご注意ください。

2000 人以上の指定をしたい場合には、別途ご相談ください。

➤ [アイテム毎に、アイテムの作成者(更新者)が対象ユーザーを指定する]

アイテムの編集フォームに、対象ユーザーを指定する欄が表示され、そのアイテムの閲覧記録の対象ユーザーを設定することができます。

➤ [アイテムに閲覧権限を持つユーザー・グループを記録する]

アイテムに閲覧以上の権限を割り当てられているユーザーがすべて記録対象となります。

但し、上限値の 2000 人を超えた分のユーザーは自動的に記録対象外となり、未読ユーザー一覧にも表示されないためご注意ください

※[閲覧記録の対象ユーザー]の設定に関わらず、システムアカウントとなるユーザーでログインしている場合のアクセスは、閲覧の記録がされません。

※対象ユーザーの指定の変更、及び、指定されたグループのメンバーの変更は、変更を行って以降に作成、更新されたアイテムに対してのみ有効となります。既存アイテムには、そのアイテムが更新されるまで反映されませんので、ご注意ください。

[閲覧記録の公開先]

アイテムの閲覧記録(未読ユーザー、既読ユーザー)を参照できるユーザーを設定します。

ここで設定したユーザーがアイテムの表示フォームを開いた場合、閲覧記録が表示されます。

閲覧記録の公開先 アイテムの閲覧記録を見ることができるユーザーを選択してください。	☒ アイテムを閲覧可能なユーザーが参照可能 ☐ (上で指定した)閲覧記録の対象ユーザーのみ参照可能 ☐ アイテムを編集可能なユーザーのみ参照可能 ☐ アイテムの作成者のみ参照可能 ☐ アイテム毎に、アイテムの作成者(更新者)が閲覧記録の公開先を指定する
---	---

- [アイテムを閲覧可能なユーザーが参照可能]
アイテム自体を閲覧することができる全てのユーザーが、閲覧記録を参照できます。
- [(上で指定した)閲覧記録の対象ユーザーのみ参照可能]
[閲覧記録の対象ユーザー]で設定したユーザーのみ、閲覧記録を参照できます。
- [アイテムを編集可能なユーザーのみ参照可能]
アイテムを編集することができるユーザーのみ、閲覧記録を参照できます。
- [アイテムの作成者のみ参照可能]
アイテムの作成者のみ、閲覧記録を参照できます。
- [アイテム毎に、アイテムの作成者(更新者)が閲覧記録の公開先を指定する]
アイテムの編集フォームに、閲覧記録の公開先を指定する欄が表示され、そのアイテムの公開先を設定することができます。

※[閲覧記録の公開先]の設定に関わらず、システムアカウントでログインしている場合は、常に閲覧記録が参照できます。

[アイテムプロパティ更新時の閲覧記録初期化]

ユーザーが編集フォームでアイテムのプロパティを更新した際に、そのアイテムの既存の閲覧記録を消すかどうかを設定することができます。

アイテムプロパティ更新時の閲覧記録初期化

ユーザーが編集フォームでアイテムのプロパティを更新した際に、そのアイテムの既存の閲覧記録を消すかどうかを指定してください。

- ☒ 更新時に閲覧記録を初期化するかどうか更新者が指定する
- ☐ 更新時に閲覧記録を常に初期化する
- ☐ 更新時に閲覧記録を常に初期化しない

- [更新時に閲覧記録を初期化するかどうか更新者が指定する]
ユーザーが編集フォームでアイテムのプロパティを更新する際に、既存の閲覧記録を初期化（既読ユーザー情報を削除）するかどうかを設定することができます。
- [更新時に閲覧記録を常に初期化する]
ユーザーが編集フォームでアイテムのプロパティを更新した際に、既存の閲覧記録が常に初期化（既読ユーザー情報が削除）されます。
- [編集時に閲覧記録（足跡）を消さない]
ユーザーが編集フォームでアイテムのプロパティを更新した際に、既存の閲覧記録が初期化されません。

[未読ユーザーへのメール送信] ※プロ版のみ

まだアイテムを閲覧していないユーザー（未読ユーザー）に対して、メールを送信できるユーザーを設定することができます。

ここで指定したユーザーがアイテムの表示フォームまたは未読ユーザー 一覧画面を表示した際に、メール送信ボタンまたはリンクが表示されます。

未読ユーザーへのメール送信

まだアイテムを閲覧していないユーザーへ、メールを送信することができます。ユーザーを選択してください。

※閲覧記録を参照できないユーザーはメールを送信できません。

- ☐ アイテムを閲覧可能なユーザーがメール送信可能
- ☐ (上で指定した)閲覧記録の対象ユーザーのみメール送信可能
- ☐ アイテムを編集可能なユーザーのみメール送信可能
- ☐ アイテムの作成者のみメール送信可能
- ☒ リストの管理権限を持つユーザーのみメール送信可能
- ☐ このリスト(ライブラリ)でメール送信機能を利用させない

- [アイテムを閲覧可能なユーザーがメール送信可能]
アイテム自体を閲覧することができる全てのユーザーが、メール送信できます。
- [(上で指定した)閲覧記録の対象ユーザーのみメール送信可能]
[閲覧記録の対象ユーザー]で設定したユーザーのみ、メール送信できます。
- [アイテムを編集可能なユーザーのみメール送信可能]
アイテムを編集することができるユーザーのみ、メール送信できます。
- [アイテムの作成者のみメール送信可能]
アイテムの作成者のみ、メール送信できます。
- [リストの管理権限を持つユーザーのみメール送信可能]
リストに管理権限があるユーザーのみ、メール送信できます。
- [このリスト(ライブラリ)でメール送信機能を利用させない]
このリスト(ライブラリ)では未読ユーザーにメールを送信することができなくなります。

※[未読ユーザーへのメール送信]の設定に関わらず、システムアカウントとなるユーザーでログインしている場合はメール送信することができます。

【閲覧を記録するビュー】

閲覧を記録するビュー	ビュー名	コンテンツタイプ	このビューで閲覧を記録する
ビューを表示しただけで各アイテムの閲覧を記録したい場合は、ビューを指定してください。例えば、ディスカッション掲示板の「スレッド形式」ビューや「フラット形式」ビューを指定すると、ビューに表示された「ディスカッション（スレッド）」とすべての「返信」の閲覧が記録されます。	スレッド形式	ディスカッション	☒
	フラット形式	ディスカッション	☒
	件名	ディスカッション	☐
	管理	(なし)	☐
	特集ディスカッション	ディスカッション	☐

ここで指定したビューを表示すると、そのビュー内に表示されたすべてのアイテムのへ閲覧が記録されます。（ディスカッション掲示板の「スレッド形式」や「フラット形式」ビューなどで、画面に表示された全ての「返信」アイテムの閲覧を記録するための機能です。）

※閲覧を記録するビューの設定は、ビューの編集画面から行うことも可能です。（詳細は後述の備考を参照して下さい。）

3. [保存]ボタンをクリックすると設定は完了です。

備考)ビューの編集画面から設定を行う方法

閲覧記録機能が有効になっているライブラリまたはリストで、ビューの編集画面から閲覧を記録するビューの設定を変更することができます。

- 閲覧記録機能が有効になっているライブラリまたはリストを開き、設定を行うビューの(標準機能の)編集画面を表示します。

列	表示	列名	左からの並び順
各列のチェックボックスのオン/オフを切り替えて、このページのこのビューに表示する列を選択してください。列の並び順を指定するには、[左からの並び順] ボックスで数値を選択します。	☒	種類 (ドキュメントにリンクされたアイコン)	1
	☒	タイトル (編集メニュー付きのアイテムにリンク)	2
	☒	閲覧記録追加 (ビューを表示した際に閲覧を記録するためのフィールド) ※データシートビューでは表示することができません。	3
	☐	ID	4
	☐	Test	5
	☐	アプリの作成者	6

列の設定で、[閲覧記録追加]列のチェックボックスをオンにすると、そのビュー内に表示されたすべてのアイテムの閲覧が記録されます。(前述の 2.の [閲覧を記録するビュー] で指定した場合に表示される列です。)

※この[閲覧記録追加]列は表示されない不可視列です。

※この[閲覧記録追加]列にチェックを入れたビューは、データシートビューで表示できません。

閲覧記録の表示

閲覧記録を表示する手順は、次の通りです。

1. 閲覧記録機能を設定したリストまたはライブラリを開き、アイテムの表示フォームを開きます。

タスク - アクセスランキング集計WP UI レビュー

表示

アイテムの編集

バージョン履歴

共有相手

アイテムの削除

管理

通知

ワークフロー

操作

タスク名

アクセスランキング集計WP UI レビュー

開始日

2013/07/10

期限

2013/09/30

担当者

達成率 (%)

7%

説明

プレゼンテーション層の実装および一時単体試験が完了致しました。

マイスターレビューをお願いします。

・性的解析は2013/7/10に完了しています。(チェックシート添付)

・本タスク完了後に、性能測定及びアクセシビリティ評価の発注WF開始をお願いします。

先行タスク

優先度

(2) 標準

タスクの状態

待機中

関連アイテム

関連アイテムの追加

閲覧記録

既読ユーザー 10 人 / 未読ユーザー 10 人

メール送信

コンテンツ タイプ: タスク

作成日時 2013/08/08 11:48 作成者 ☐ システム アカウント

最終更新日時 2013/08/08 11:55 更新者 ☐ システム アカウント

閉じる

2. 設定画面で指定した、[閲覧記録の公開先] に該当するユーザーがアクセスした場合は、[閲覧記録]列が表示されます。

➤ [既読ユーザー]

すでに閲覧したユーザーの人数が表示されます。既読ユーザーが 1 人以上いる場合、リンクで表示され、クリックすると既読ユーザーの一覧画面が表示されます。

➤ [未読ユーザー]

まだ閲覧していないユーザーの人数が表示されます。未読ユーザーが 1 人以上いる場合、リンクが表示され、クリックすると未読ユーザーの一覧画面が表示されます。

未読ユーザーが 1 人以上いて、メール送信が可能なユーザーがアクセスした場合は、人数の右側にメール送信ボタンが表示されます。(※メール送信機能については後述の「メール送信機能」を参照してください。)

[未読ユーザー一覧画面]

まだ閲覧していないユーザーが一覧で表示されます。



メール送信が可能なユーザーの場合、画面上部のツールバーにメール送信リンクが表示されます。
(※メール送信機能については後述の「メール送信機能」を参照してください。)

メール送信機能

対象アイテムをまだ閲覧していないユーザーに対して、メールを送信することができる機能です。**※プロ版のみ**
メール送信を行う手順は、次の通りです。

※あらかじめ、全体管理サイトで [Web アプリケーションの送信メールの設定] を完了してください。設定が行われていない場合は、メールが正しく送信されません。

1. メール送信を行うアイテムの閲覧記録を表示します。(表示方法については、前述の「閲覧記録の表示」を参照して下さい。)

2. メール送信画面(ダイアログ)を表示します。

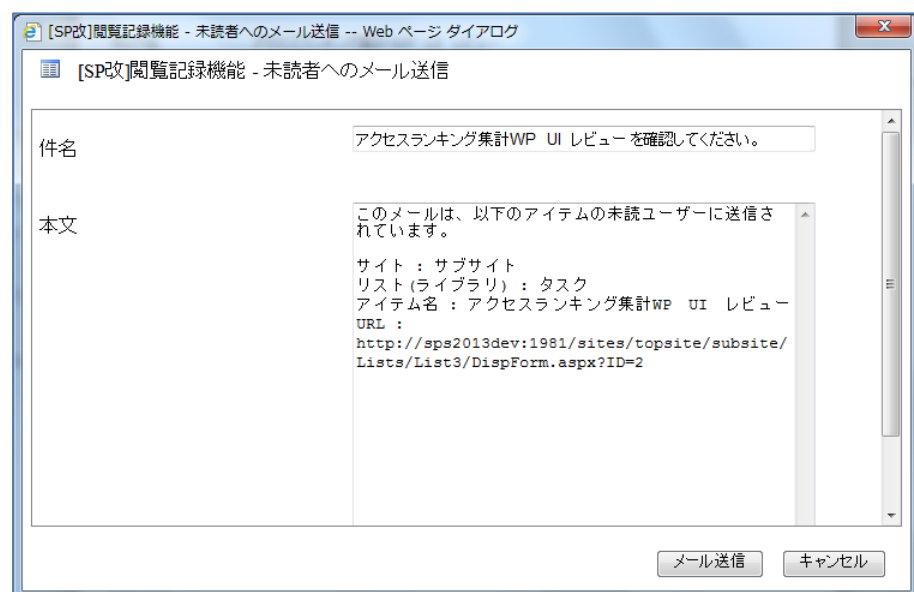
➤ アイテムの表示フォームから表示する場合

未読ユーザーが1人以上の場合、メール送信ボタンが表示され、クリックするとメール送信画面がダイアログで表示されます。

➤ 未読ユーザー一覧画面から表示する場合

✓ 未読ユーザーが1人以上いる場合、未読ユーザー一覧画面へのリンクが表示され、クリックすると未読ユーザー一覧画面が表示されます。

✓ 未読ユーザー一覧の上部ツールバーに、[未読ユーザーへメール送信] リンクが表示され、クリックするとメール送信画面がダイアログで表示されます。



3. メール送信画面では、既定で件名と本文が入りますが、編集することが可能です。

➤ [件名] の既定値: [アイテムのタイトル] を閲覧してください。

➤ [本文] の既定値:

このメールは、以下のアイテムの未読ユーザーに送信されています。

サイト : [サイト名]

リスト(ライブラリ) : [リスト名]

アイテム名 : [アイテムのタイトル]

URL : [アイテムの URL]

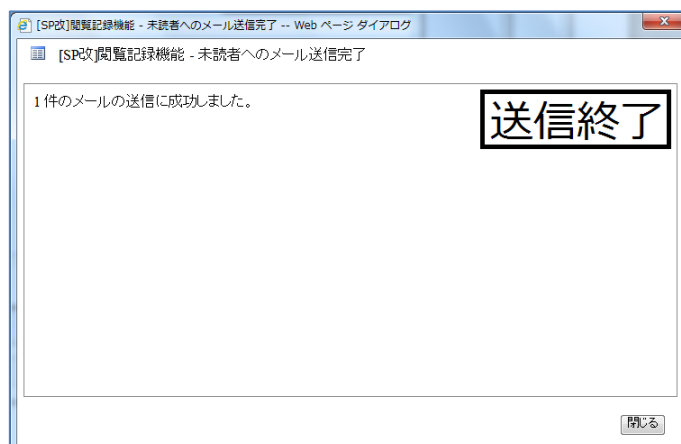
※差出人や返信先は、全体管理サイトの [Web アプリケーションの送信メールの設定] で設定されたアドレスになります。

4. [メール送信] ボタンをクリックすると、未読ユーザー全てのユーザーにメールが送信されます。



※メールアドレスの設定されていないユーザーにはメールは送信されません。

※送信開始後にダイアログを閉じても、送信は継続して行われます。



「ユーザー設定のリストフォーム」について

SharePointDesigner 等を使用して、「ユーザー設定のリストフォーム(DataFormWebPart)」を追加したページで本機能を利用する場合には、次の点にご注意ください。

1. 本機能が有効なリストで「ユーザー設定のリストフォーム」を新規作成した場合

① アイテム表示フォーム

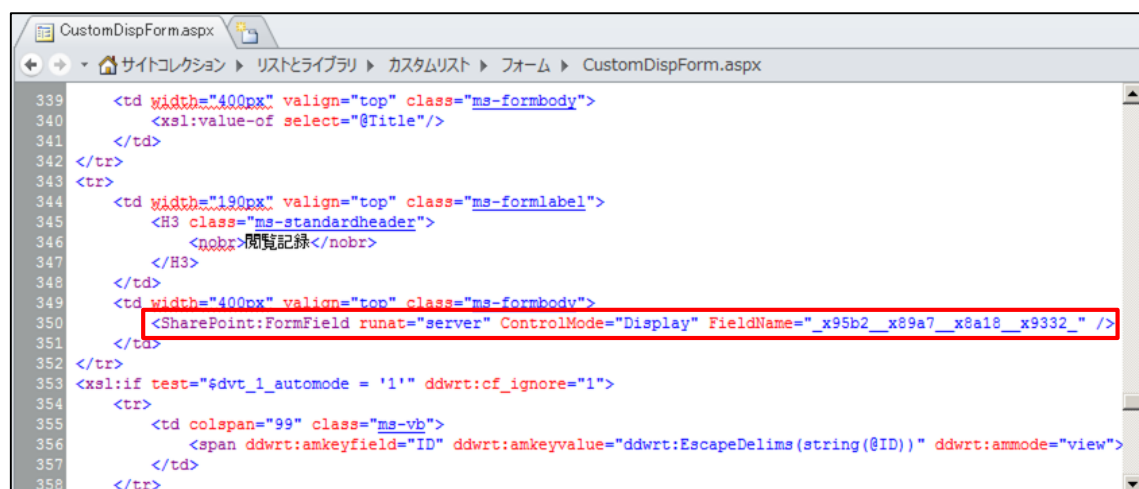
XSLT テンプレート内に閲覧記録用のフィールドが自動作成されます。ただしそのままでは閲覧記録されないため、以下の修正例を参考に閲覧記録用の FormField コントロールを追加して下さい。

➤ 変更前



```
367 <td width="400px" valign="top" class="ms-formbody">
368 <xsl:value-of select="@Title"/>
369 </td>
370 </tr>
371 <tr>
372 <td width="190px" valign="top" class="ms-formlabel">
373 <H3 class="ms-standardheader">
374 <nobr>閲覧記録</nobr>
375 </H3>
376 </td>
377 <td width="400px" valign="top" class="ms-formbody">
378 <xsl:value-of select="@_x95b2_x89a7_x8a18_x9332_" />
379 </td>
380 </tr>
381 <xsl:if test="$dvt_1_automode = '1'" ddwrt:cf_ignore="1">
382 <tr>
383 <td colspan="99" class="ms-vb">
384 <span ddwrt:amkeyfield="ID" ddwrt:amkeyvalue="ddwrt:EscapeDelims(string(@ID))" ddwrt:ammode="view">
385 </td>
386 </tr>
```

➤ 変更後



```
339 <td width="400px" valign="top" class="ms-formbody">
340 <xsl:value-of select="@Title"/>
341 </td>
342 </tr>
343 <tr>
344 <td width="190px" valign="top" class="ms-formlabel">
345 <H3 class="ms-standardheader">
346 <nobr>閲覧記録</nobr>
347 </H3>
348 </td>
349 <td width="400px" valign="top" class="ms-formbody">
350 <SharePoint:FormField runat="server" ControlMode="Display" FieldName="_x95b2_x89a7_x8a18_x9332_" />
351 </td>
352 </tr>
353 <xsl:if test="$dvt_1_automode = '1'" ddwrt:cf_ignore="1">
354 <tr>
355 <td colspan="99" class="ms-vb">
356 <span ddwrt:amkeyfield="ID" ddwrt:amkeyvalue="ddwrt:EscapeDelims(string(@ID))" ddwrt:ammode="view">
357 </td>
358 </tr>
```

※FieldName="_x95b2_x89a7_x8a18_x9332_"（閲覧記録列の内部列名）

② アイテム編集フォーム

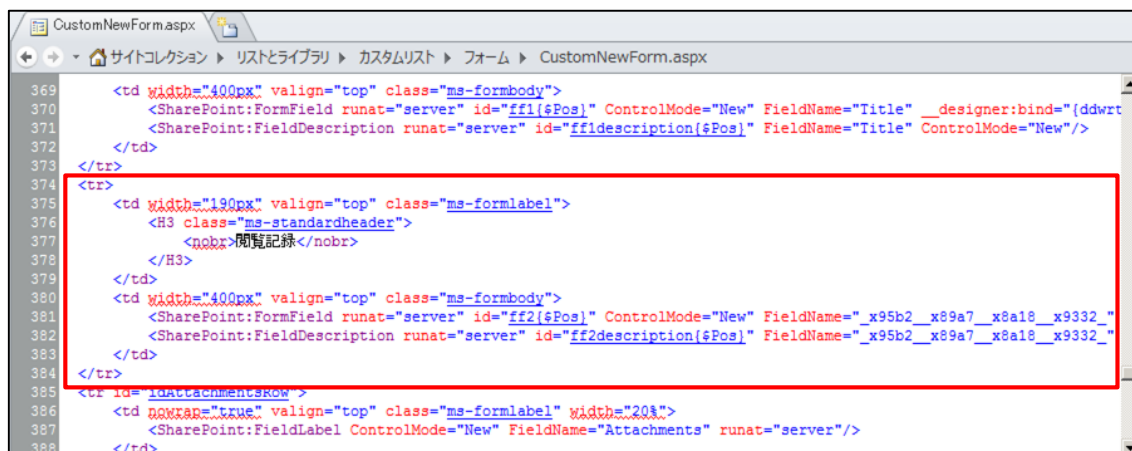
XSLT テンプレート内に閲覧記録用のフィールドが自動作成されます。変更は不要です。



```
375 <td width="400px" valign="top" class="ms-formbody">
376 <SharePoint:FormField runat="server" id="ff1{$Pos}" ControlMode="Edit" FieldName="Title" __designer:bind="{ddwr
377 <SharePoint:FieldDescription runat="server" id="ff1description{$Pos}" FieldName="Title" ControlMode="Edit"/>
378 </td>
379 </tr>
380 <tr>
381 <td width="190px" valign="top" class="ms-formlabel">
382 <H3 class="ms-standardheader">
383 <noBr>閲覧記録</noBr>
384 </H3>
385 </td>
386 <td width="400px" valign="top" class="ms-formbody">
387 <SharePoint:FormField runat="server" id="ff2{$Pos}" ControlMode="Edit" FieldName="_x95b2_x89a7_x8a18_x9332_"
388 <SharePoint:FieldDescription runat="server" id="ff2description{$Pos}" FieldName="_x95b2_x89a7_x8a18_x9332_"
389 </td>
390 </tr>
391 <tr id="idAttachmentsRow">
392 <td nowrap="true" valign="top" class="ms-formlabel" width="20%">
393 <SharePoint:FieldLabel ControlMode="Edit" FieldName="Attachments" runat="server"/>
394 </td>
```

③ アイテム作成フォーム

XSLT テンプレート内に閲覧記録用のフィールドが自動作成されます。変更は不要です。



```
369 <td width="400px" valign="top" class="ms-formbody">
370 <SharePoint:FormField runat="server" id="ff1{$Pos}" ControlMode="New" FieldName="Title" __designer:bind="{ddwrt
371 <SharePoint:FieldDescription runat="server" id="ff1description{$Pos}" FieldName="Title" ControlMode="New"/>
372 </td>
373 </tr>
374 <tr>
375 <td width="190px" valign="top" class="ms-formlabel">
376 <H3 class="ms-standardheader">
377 <noBr>閲覧記録</noBr>
378 </H3>
379 </td>
380 <td width="400px" valign="top" class="ms-formbody">
381 <SharePoint:FormField runat="server" id="ff2{$Pos}" ControlMode="New" FieldName="_x95b2_x89a7_x8a18_x9332_"
382 <SharePoint:FieldDescription runat="server" id="ff2description{$Pos}" FieldName="_x95b2_x89a7_x8a18_x9332_"
383 </td>
384 </tr>
385 <tr id="idAttachmentsRow">
386 <td nowrap="true" valign="top" class="ms-formlabel" width="200">
387 <SharePoint:FieldLabel ControlMode="New" FieldName="Attachments" runat="server"/>
388 </td>
```

2. 本機能が有効なリストで、既に作成済みの「ユーザー設定のリストフォーム」を修正する場合

① アイテム表示フォーム

XSLT テンプレート内の<xsl:template name=dvt_1.rowview>タグ内に、閲覧記録用の FormField コントロールを追加して下さい。また、必要に応じて見出し・テーブル行なども追加してください。以下に修正例を記載します。

➤ 変更前

```
CustomDispForm.aspx
<xsl:template name="dvt_1.rowview">
  <tr>
    <td>
      <table border="0" cellspacing="0" width="100%">
        <tr>
          <td width="190px" valign="top" class="ms-formlabel">
            <H3 class="ms-standardheader">
              <nobr>タイトル</nobr>
            </H3>
          </td>
          <td width="400px" valign="top" class="ms-formbody">
            <xsl:value-of select="@Title"/>
          </td>
        </tr>
        <xsl:if test="$dvt_1_automode = '1'" ddwrt:cf_ignore="1">
          <tr>
            <td colspan="99" class="ms-vb">
              <span ddwrt:amkeyfield="ID" ddwrt:amkeyvalue="ddwrt:EscapeDelims(string(@ID))" ddwrt:ammode="view">
            </td>
          </tr>
        </xsl:if>
      </table>
    </td>
  </tr>
</xsl:template>
```

➤ 変更後

```
CustomDispForm.aspx
<xsl:template name="dvt_1.rowview">
  <tr>
    <td>
      <table border="0" cellspacing="0" width="100%">
        <tr>
          <td width="190px" valign="top" class="ms-formlabel">
            <H3 class="ms-standardheader">
              <nobr>タイトル</nobr>
            </H3>
          </td>
          <td width="400px" valign="top" class="ms-formbody">
            <xsl:value-of select="@Title"/>
          </td>
        </tr>
        <tr>
          <td width="190px" valign="top" class="ms-formlabel">
            <H3 class="ms-standardheader">
              <nobr>閲覧記録</nobr>
            </H3>
          </td>
          <td width="400px" valign="top" class="ms-formbody">
            <SharePoint:FormField runat="server" ControlMode="Display" FieldName="_x95b2__x89a7__x8a18__x9332_" />
          </td>
        </tr>
        <xsl:if test="$dvt_1_automode = '1'" ddwrt:cf_ignore="1">
          <tr>
            <td colspan="99" class="ms-vb">
              <span ddwrt:amkeyfield="ID" ddwrt:amkeyvalue="ddwrt:EscapeDelims(string(@ID))" ddwrt:ammode="view">
            </td>
          </tr>
        </xsl:if>
      </table>
    </td>
  </tr>
</xsl:template>
```

※FieldName="_x95b2__x89a7__x8a18__x9332_"（閲覧記録列の内部列名）

② アイテム編集フォーム

XSLT テンプレート内の<xsl:template name=dvt_1.rowview>タグ内に、閲覧記録用の FormField コントロールを追加して下さい。また、必要に応じて見出し・テーブル行なども追加してください。以下に修正例を記載します。

➤ 変更前

```
CustomEditForm.aspx
リストとライブラリ > カスタムリスト > フォーム > CustomEditForm.aspx

335 <xsl:template name="dvt_1.rowedit">
336 <xsl:param name="Pos" select="position()"/>
337 <tr>
338 <td>
339 <table border="0" cellspacing="0" width="100%">
340 <tr>
341 <td width="190px" valign="top" class="ms-formlabel">
342 <H3 class="ms-standardheader">
343 <noBr>タイトル<span class="ms-formvalidation"> *</span>
344 </noBr>
345 </H3>
346 </td>
347 <td width="400px" valign="top" class="ms-formbody">
348 <SharePoint:FormField runat="server" id="ffi{$Pos}" ControlMode="Edit" FieldName="Title" __designer:k
349 <SharePoint:FieldDescription runat="server" id="ffdescription{$Pos}" FieldName="Title" ControlMode="
350 </td>
351 </tr>
352 <tr id="idAttachmentsRow">
353 <td nowrap="true" valign="top" class="ms-formlabel" width="20%">
354 <SharePoint:FieldLabel ControlMode="Edit" FieldName="Attachments" runat="server"/>
```

➤ 変更後

```
CustomEditForm.aspx
リストとライブラリ > カスタムリスト > フォーム > CustomEditForm.aspx

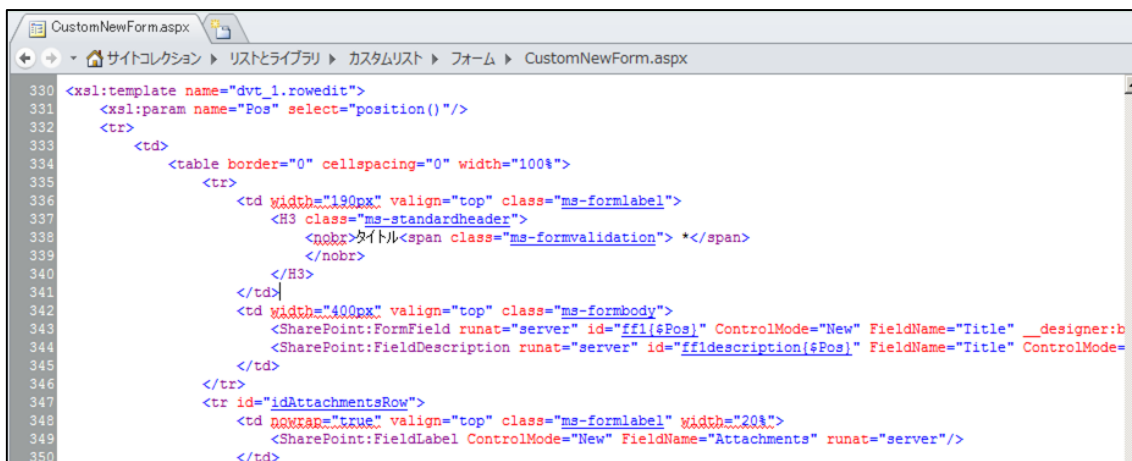
335 <xsl:template name="dvt_1.rowedit">
336 <xsl:param name="Pos" select="position()"/>
337 <tr>
338 <td>
339 <table border="0" cellspacing="0" width="100%">
340 <tr>
341 <td width="190px" valign="top" class="ms-formlabel">
342 <H3 class="ms-standardheader">
343 <noBr>タイトル<span class="ms-formvalidation"> *</span>
344 </noBr>
345 </H3>
346 </td>
347 <td width="400px" valign="top" class="ms-formbody">
348 <SharePoint:FormField runat="server" id="ffi{$Pos}" ControlMode="Edit" FieldName="Title" __designer:k
349 <SharePoint:FieldDescription runat="server" id="ffdescription{$Pos}" FieldName="Title" ControlMode="
350 </td>
351 </tr>
352 <tr>
353 <td width="190px" valign="top" class="ms-formlabel">
354 <H3 class="ms-standardheader">
355 <noBr>閲覧記録</noBr>
356 </H3>
357 </td>
358 <td width="400px" valign="top" class="ms-formbody">
359 <SharePoint:FormField runat="server" ControlMode="Edit" FieldName="_x95b2__x89a7__x8a18__x9332_" />
360 </td>
361 </tr>
362 <tr id="idAttachmentsRow">
363 <td nowrap="true" valign="top" class="ms-formlabel" width="20%">
364 <SharePoint:FieldLabel ControlMode="Edit" FieldName="Attachments" runat="server"/>
```

※FieldName="_x95b2__x89a7__x8a18__x9332_"（閲覧記録列の内部列名）

③ アイテム作成フォーム

XSLT テンプレート内の<xsl:template name=dvt_1.rowview>タグ内に、閲覧記録用の FormField コントロールを追加して下さい。また、必要に応じて見出し・テーブル行なども追加してください。以下に修正例を記載します。

➤ 変更前



```

330 <xsl:template name="dvt_1.rowview">
331   <xsl:param name="Pos" select="position()" />
332   <tr>
333     <td>
334       <table border="0" cellspacing="0" width="100%">
335         <tr>
336           <td width="190px" valign="top" class="ms-formlabel">
337             <H3 class="ms-standardheader">
338               <noBr>タイトル<span class="ms-formvalidation"> *</span>
339             </noBr>
340             </H3>
341           </td>
342           <td width="400px" valign="top" class="ms-formbody">
343             <SharePoint:FormField runat="server" id="ff1{$Pos}" ControlMode="New" FieldName="Title" __designer:b
344             <SharePoint:FieldDescription runat="server" id="ff1description{$Pos}" FieldName="Title" ControlMode=
345           </td>
346         </tr>
347       </table>
348     </td>
349     <td id="idAttachmentsRow">
350       <td width="190px" valign="top" class="ms-formlabel" width="20%">
351       <SharePoint:FieldLabel ControlMode="New" FieldName="Attachments" runat="server"/>
352     </td>
353   </tr>
354 </template>
  
```

➤ 変更後



```

330 <xsl:template name="dvt_1.rowview">
331   <xsl:param name="Pos" select="position()" />
332   <tr>
333     <td>
334       <table border="0" cellspacing="0" width="100%">
335         <tr>
336           <td width="190px" valign="top" class="ms-formlabel">
337             <H3 class="ms-standardheader">
338               <noBr>タイトル<span class="ms-formvalidation"> *</span>
339             </noBr>
340             </H3>
341           </td>
342           <td width="400px" valign="top" class="ms-formbody">
343             <SharePoint:FormField runat="server" id="ff1{$Pos}" ControlMode="New" FieldName="Title" __designer:b
344             <SharePoint:FieldDescription runat="server" id="ff1description{$Pos}" FieldName="Title" ControlMode=
345           </td>
346         </tr>
347       </table>
348     </td>
349     <td id="idAttachmentsRow">
350       <td width="190px" valign="top" class="ms-formlabel" width="20%">
351       <SharePoint:FieldLabel ControlMode="New" FieldName="Attachments" runat="server"/>
352     </td>
353   </tr>
354 </template>
  
```

※FieldName="_x95b2_x89a7_x8a18_x9332_"（閲覧記録列の内部列名）

制限事項

以下のリストは閲覧記録機能サポート対象外です。

- データ接続ライブラリ
- PerformancePointServices のデータ接続ライブラリ
- スライドライブラリ
- ステータスリスト
- PerformancePointServices コンテンツリスト
- 外部リスト
- 再利用可能なコンテンツ
- メディアライブラリ
- ブログを構成する各リスト(投稿、コメント、カテゴリ)

画像ライブラリでは、以下の操作は閲覧記録されません。

- 画像の編集
- スライドショーで表示

以下の形式のファイルをクライアントアプリで編集する場合、閲覧は記録されません。

- aspx ファイル(SharePoint Designer で編集)
- イメージファイル(Microsoft Picture Manager で編集)

以下のリストでは新規フォームに閲覧記録列が表示されません。アイテム毎に設定を行うよう指定している場合は、アイテムを新規作成後、編集フォームにて閲覧記録設定を行ってください。

- 行先リスト

以下のリストで、ユーザー設定を行ったフォームには閲覧記録列が表示されません。

- カスタムリスト

試用版について

試用版の場合、閲覧記録機能が有効になっているリストのアイテムの表示フォーム、編集フォームの閲覧記録列に、弊社 株式会社アンクのロゴが表示されます。

以上